

地域連携推進会議 議事録(要約版)

1. 会議概要

開催日時:令和 8 年 2 月 3 日(火)9 時 00 分～10 時 30 分

開催場所:社会福祉法人桜裕会 サクラプリンテック 会議室

主催者:社会福祉法人桜裕会 サクラプリンテック

2. 参加者

参加者内訳:

- ・相談支援事業所(1 名)
- ・就労系障害福祉サービス事業所(1 名)
- ・地域関係者(民生委員 1 名)
- ・利用者(2 名)
- ・事業所職員(3 名)

計 8 名

※氏名は出席者名簿にて別途管理

※利用者家族については、個人的事情により今回は参加見合わせ。 日中活動事業所が利用者の生活状況を踏まえた意見を代弁。

3. 会議内容

(1)開会・趣旨説明

管理者より、本会議は事業所の評価を目的とするものではなく、地域関係者との情報共有および相互理解を深め、今後の支援や事業運営の改善につなげる場として開催している旨の説明があった。

(2)参加者紹介

出席者全員が、所属および立場を中心とした簡潔な自己紹介を行った。

(3)事業所概要・運営方針の説明

配布資料をもとに、以下の内容について説明を行った。

- ・定員 5 名の共同生活援助事業所(満床)
- ・知的障害・精神障害のある利用者が日中活動サービスを利用
- ・個別支援計画に基づく生活支援の実施
- ・緊急時対応体制(24 時間連絡・概ね 30 分以内の駆けつけ)
- ・虐待防止、事故防止、BCP 策定および備蓄・避難訓練の実施

・地域との関係づくりの現状と今後の検討方針

4. 意見交換・情報共有(概要)

■ 災害対応について

形式的な訓練ではなく、実際の災害発生を想定した行動が重要であるとの意見が出された。徒歩での避難に要する時間の把握、避難所での受け入れが保証されない場合の想定、障害や認知症のある方への配慮、二次避難場所の活用について、事前に確認・共有しておく必要性が示された。

■ 地域連携・理解促進について

民生委員からは、障害分野への理解が十分でない現状があり、今後は障害特性に関する周知が重要であるとの意見があった。また、災害時には支援側も身動きが取れない状況が想定されるため、連絡手段や体制整備の必要性が共有された。

■ 関係機関・利用者からの意見

関係機関からは、平時からの情報共有と役割分担の確認が重要であるとの意見があった。利用者からは、地域とのあいさつや日常的な関わりを大切にしたいとの意向が示された。

5. 施設見学

感染症対策としての別室確保、朝夕の食事を通じた状態確認、集団生活の中での自立支援について説明を行い、参加者から理解が深まったとの声があった。

6. 今後の課題・確認事項

- ・実践的な災害避難訓練の実施
- ・災害時の連絡体制および役割分担の整理
- ・障害特性に関する地域への周知・理解促進
- ・地域連携推進会議の継続開催
- ・利用者の状況に応じた地域活動への段階的参加検討

7. 閉会

管理者より謝辞を述べ、いただいた意見を今後の支援および運営に活かしていくことを確認し、閉会とした。